

資 料

マラソングランドチャンピオンシップ 兼
東京2020オリンピック日本代表選考競技会 兼
第103回日本陸上競技選手権大会（東京都）視察報告
——男子マラソン種目に着目して——

尾 方 剛*

1. は じ め に

2019年9月15日、東京都渋谷区の明治神宮外苑いちよう並木をスタート・フィニッシュとし、この発着点以外は東京五輪本番と同様のコース（その後、札幌市にコース変更することが2019年11月1日、国際オリンピック委員会により正式決定となった）で2020年東京五輪マラソン代表選考レース「マラソングランドチャンピオンシップ」（以降、MGC）が開催された。事実上、男女とも一発勝負の選考会で各メディア、観客者など非常に注目を集めた大会であった。特に男子は大迫傑（Nike）、設楽悠太（Honda）、井上大仁（MHPS）、服部勇馬（トヨタ自動車）の自己記録上位4名が4強といわれており、世間の関心も非常に高かった。

筆者は9月12日から15日まで岐阜市で開催された日本学生対校選手権大会に学生帯同していたが、MGCの解説業務があったため14日に東京へ移動した。株式会社TBSテレビへ到着後、各アナウンサー、ディレクターの方々との簡単な打ち合わせを行い、翌日の本番へ備えた。筆者が携わったMGCの視察報告を以下の通り述べていく。

2. 男子マラソン

筆者はレース前の6時過ぎにはスタート地点へ移動し、選手のウォーミングアップを観察しながら状態の良し悪しを、解説の判断材料となるよう見極めていた（写真1）。15日の8時50分スタートであったが、機材のトラブルにより2分以上遅れて男子30名がスタートした。このことが多少なりとも選手たちに、主として心理



写真1 MGC スタート前、各選手がウォーミングアップを行っている様子（筆者撮影）

* 広島経済大学経営学部スポーツ経営学科准教授

的な部分への影響があったと推測される。今回は2号車から選手の走りを間近で捉えながら解説を行った。実際、夏の蒸し暑さはそれほど感じられず、この時期にしては比較的走りやすいような条件下であった（スタート時=晴れ、気温26.5度、湿度63%）。

スタート直後から優勝候補に挙げられていた設楽悠太が積極的な走りで後続を突き放し、早くも独走態勢を築いていった。先頭の設楽悠太は5 Kmを14分56秒で通過し、ペースは1 Kmほぼ3分ペースであった。この度のマラソコースは10 Kmまで下っているため決して速いタイムではなかったが、2位集団は牽制して先頭を追う選手がおらず、大集団となっていた（写真2）。先頭と2位集団の差は5 Kmで1分、10 Kmで1分44秒まで広がったが、2位集団は先頭を追う素振りすらなかった。そして15

Kmで先頭と2位集団とは最大2分13秒差まで広がり、そこから2位集団は先頭を追い始めた。

本来1号車は先頭集団の実況・解説を行うため、比較的出番が多いのだが、設楽悠太のスタート直後からの飛び出しにより、2号車は2位集団の解説をしなければならなくなった。29名の大集団で推移していたため、2号車は全選手を把握するのが非常に困難な状況であった。2位集団は15 Km過ぎてからペースが上がったことにより、4強と注目された中で最も評価が高く、本命視していた井上大仁が集団から離れてしまった。独走する設楽悠太は20 Kmを1時間00分04秒、中間点は1時間3分27秒で通過し、2位集団に約2分の差を保っていた。設楽悠太が残り約20 Kmで2位集団と2分差があれば、勝ち切る可能性が非常に高いと筆者は予想していた。その理由として、後半5 Km毎のラップタイムを無理に上げることなく15分30秒ペースで刻んでいけば、計算上2位集団に追いつかれることなく逃げ切れると想定できたからである。

だが25 Km以降、設楽悠太のペースが落ち始め、2位集団はそれほどペースが上がったわけではなかったが先頭を走る設楽悠太との差は縮まっていき、先頭の姿が2位集団から捉えられるようになった。その集団には大迫傑、服部勇馬を含め9名が含まれており、37 Kmで一気に設楽悠太を吸収した。上りで距離的にも一番苦しい場面で誰がスパートするのか、その点を注目して解説を行っていた。何度かの集団内での仕掛けにより人数が絞られていき、40 Kmが目前となり、上り坂の傾斜がきつい箇所を満を持して中村匠吾（富士通）がスパートした。服部勇馬は先頭に立った中村匠吾から離されたが、大迫傑は対応し先頭を追う姿勢を見せ、一旦は追いついた。しかし残り800 mの上り坂で再度中村匠吾がスパートし、日本記録保持者の大迫傑を振り切り、優勝した。2位は大崩れせ

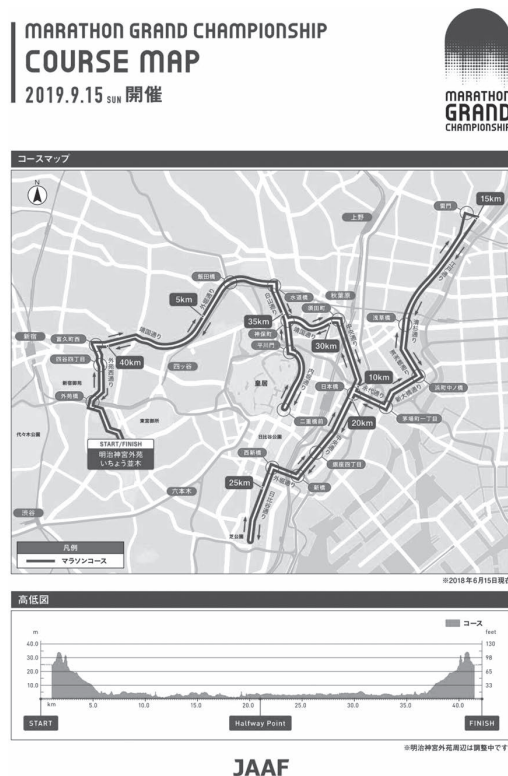


写真2 MGC コースマップ（日本陸上競技連盟公式サイトより抜粋）

ず確実な走りに徹した服部勇馬がラスト 300 m で大迫を抜き返して 2 位となり、中村匠吾とともに東京五輪代表内定 2 枠を決めた。大迫傑は

勝ち切れず 3 位となり、MGC での東京五輪代表内定とはならなかった（ゴール時＝晴れ、気温 28.8 度、湿度 63%）。

設楽悠太は 14 位、井上大仁は完走者の中では最下位の 27 位という結果であった（表 1）。

表 1 マラソングランドチャンピオンシップ男子成績

順位	選手	所属	タイム
1	中村 匠吾	富士通	2:11:28
2	服部 勇馬	トヨタ自動車	2:11:36
3	大迫 傑	Nike	2:11:41
4	大塚 祥平	九電工	2:11:58
5	橋本 峻	GMO アスリーツ	2:12:07
6	竹ノ内佳樹	NTT 西日本	2:12:31
7	鈴木 健吾	富士通	2:12:44
8	中本健太郎	安川電機	2:12:46
9	藤本 拓	トヨタ自動車	2:13:58
10	岡本 直己	中国電力	2:14:55
11	上門 大祐	大塚製薬	2:15:08
12	山本 浩之	コニカミノルタ	2:15:52
13	河合 代二	トーエネック	2:15:56
14	設楽 悠太	Honda	2:16:09
15	堀尾 謙介	トヨタ自動車	2:16:21
16	山本 憲二	マツダ	2:16:44
17	神野 大地	セルソース	2:17:40
18	木滑 良	MHPS	2:18:51
19	谷川 智浩	コニカミノルタ	2:18:56
20	岩田 勇治	MHPS	2:19:45
21	村澤 明伸	日清食品グループ	2:19:52
22	福田 穰	西鉄	2:19:55
23	佐藤 悠基	日清食品グループ	2:20:13
24	藤川 拓也	中国電力	2:20:35
25	今井 正人	トヨタ自動車九州	2:21:15
26	園田 隼	黒崎播磨	2:21:51
27	井上 大仁	MHPS	2:22:10
	高久 龍	ヤクルト	途中棄権
	荻野 皓平	富士通	途中棄権
	宮脇 千博	トヨタ自動車	途中棄権
	…ナイキ社製厚底シューズ着用選手		

3. 女子マラソン

男子から約 20 分遅れて 15 日の 9 時 10 分に女子はスタートした。男子とは違い 10 名の出場者であったが、一山麻緒（ワコール）が男子同様、序盤から積極果敢な走りを見せた。サバイバルレースとなり、20 Km を目前に前田穂南（天満屋）が抜け出し、そこから独走状態となりそのまま勝ち切った。出場選手の中では、最後まで前田穂南についていた鈴木亜由子（日本郵政グループ）は先頭と 3 分 47 秒の差をつけられての 2 位となり、前田穂南とともに東京五輪代表内定 2 枠を決めた。最後 4 秒差まで追った小原怜（天満屋）は惜しくも 3 位となった（表 2）。

4. 総括

2017 年 8 月から 2019 年 4 月まで行われたマラソングランドチャンピオンシップシリーズ

表 2 マラソングランドチャンピオンシップ女子成績

順位	選手	所属	タイム
1	前田 穂南	天満屋	2:25:15
2	鈴木亜由子	日本郵政グループ	2:29:02
3	小原 怜	天満屋	2:29:06
4	松田 瑞生	ダイハツ	2:29:51
5	野上 恵子	十八銀行	2:31:14
6	一山 麻緒	ワコール	2:32:30
7	福士加代子	ワコール	2:33:29
8	安藤 友香	ワコール	2:36:29
9	岩出 玲亜	アンダーアーマー	2:41:22
	上原 美幸	第一生命グループ	途中棄権
	…ナイキ社製厚底シューズ着用選手		

(MGC シリーズ) では規定を設け、まずは MGC (東京五輪最終選考会) へ出場できる選手を絞っていった。そして資格を得た選手が MGC で戦い、男女とも東京五輪マラソン代表 2 名ずつ内定した。今までの五輪マラソン選考に関しては、男女とも五輪直近の主要国内三大会 (男子では福岡国際マラソン・東京マラソン・びわ湖毎日マラソン) や世界選手権の結果をもとに選考委員会で決定していた。その選考に関して明確な基準がないため問題が生じ、その様子がメディア等で大きく取り上げられ、毎回世間の関心事となっていた。

今回の選手選考に関して、不公平さをなくし、選手にとっても世間にとっても簡潔で透明性の高い選考方法に変えたことは評価できる点だと考える。それに加え、約 2 年間かけて MGC への上場選手を厳選したことについて、直近だけ結果を残した選手、いわゆる一発屋は選考しないという意図があり、本番で戦える強くて速い選手を選択することを誰もが納得できる取り組

みであったといえる (写真 3)。

MGC は現在、世間を席卷している厚底シューズのきっかけとなる大会でもあった。ナイキ社製ピンク色の厚底シューズ「ナイキズーム X ヴェイパーフライネクスト%」を MGC 出場選手男子 30 名中 16 名、女子は 2 位の鈴木亜由子が着用し、大きな注目を集めた (表 1, 2)。2019 年 10 月以降の陸上競技長距離種目主要大会での大幅な記録更新へと繋がっていった。

2020 年 3 月 1 日の東京マラソンにおいて、大迫傑が 2 時間 5 分 29 秒で走破し、自身の日本記録を更新しての 4 位となった。その 1 週間後の名古屋ウィメンズマラソンでは、一山麻緒が 2 時間 20 分 29 秒で優勝した。この記録は女子国内日本最高記録であった。以上の結果により、男女東京五輪代表残り 1 枠に関しては、大迫傑、一山麻緒が内定となった。

この度、推敲する間に事態は急速に変化した。2019 年 9 月 26～10 月 6 日までの 10 日間、カタールの首都ドーハで開催された世界陸上競技選手

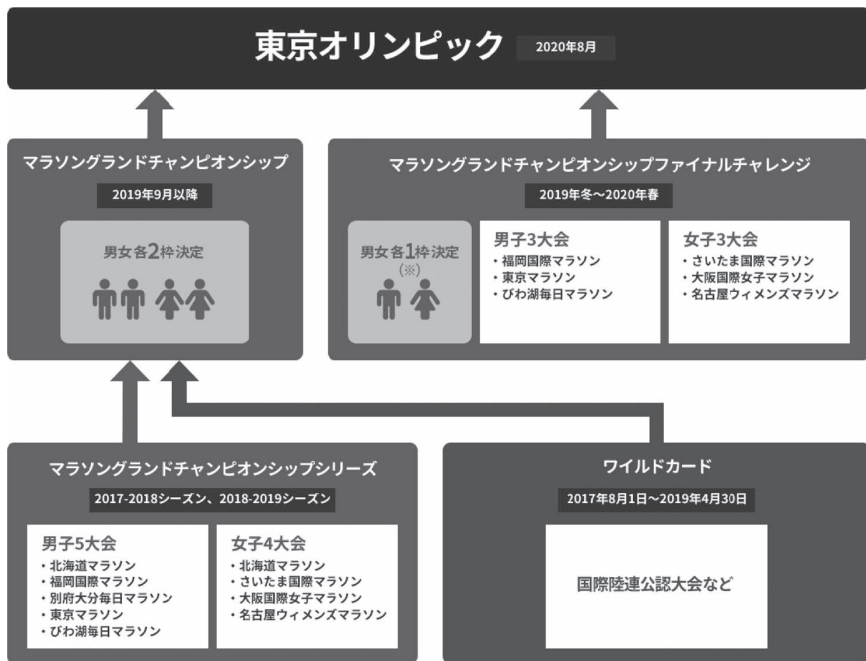


写真 3 東京五輪競技大会マラソン日本代表選手選考方法 (日本陸上競技連盟公式サイトより抜粋)

権大会でのマラソン・競歩種目の完走率の低さが懸念材料となり、東京五輪マラソン・競歩コースが札幌市へ移転となった。

現在、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の全世界での感染拡大の影響を受け、東京五輪が1年延期となり、全てのスポーツにおいて競技活動は自粛せざるを得ない状況である。

2020年4月、日本陸上競技連盟はマラソン・競歩の東京五輪代表に関して、再度選考会を行わず、すでに内定を得ている選手を維持させる決断をした。2021年7月23日から8月8日へ変更となった東京五輪、まずは開催できるのかどうか不安な面はあるが、各競技選手が最高のパフォーマンスを発揮できる環境で臨めることを切に願う。

参 考 文 献

- IOC, TOKYO2020 <https://www.olympic.org/tokyo-2020> (2020/4/19アクセス)
- TBS テレビ, 「マラソングランドチャンピオンシップ」 https://www.tbs.co.jp/marathon_gc/ (2019/9/20アクセス)
- 月刊陸上競技 (2019) 「月刊陸上競技11月号」, 講談社, pp. 42-53, pp. 139-170.
- スポーツ報知 (2019.9.16) 「マラソングランドチャンピオンシップ」, p. 20.
- 日本オリンピック委員会, 「第32回オリンピック競技大会 (2020/東京)」 <https://www.joc.or.jp/games/olympic/tokyo/news/detail.html?id=12486> (2020/3/9アクセス)
- 日本放送協会, 「マラソングランドチャンピオンシップ」 <https://sports.nhk.or.jp/dream/mgc/> (2019/9/20アクセス)
- 日本陸上競技連盟, 「マラソングランドチャンピオンシップ Official Site」 <http://www.mgc42195.jp/> (2020/3/8アクセス)
- 陸上競技マガジン (2019) 「陸上競技マガジン11月号」, ベースボールマガジン社, pp. 38-61, pp. 118-119.